

仮説1 環境ごと採取した土壌にバイオプラスチックを $\times$ れ、分解の様子を定点観察すれば実際に自然に還るかをそれぞれの種類ごとで確かめられるだろう。

仮説2 実天培地で培養した菌・細菌類と試薬の反応を観察すれば実際に微生物分解が行われたかを確かめられるだろう。

①仮説1を検証する実験

ハイオプラステックを作る。A: コーンスター・アルコールを混ぜて加熱し、グリセリンも加える。
 ・蒸留水のぬめりセロール AS-15g ・コンスター 4g 150cc ・酢 1mL ・食品着色料 1~2滴
 (加熱時間は約1~1.5分) → 混合物をアルミホイルのせ、広げて冷ます。→ 乾燥させる。
 B: 水を加えた要水を加熱し、冷ましたグリセリンを混ぜ加える。(加熱時間
 約1分程度) → 混合物をアルミホイルのせ、広げて冷ます。→ 乾燥させる。・グリセリンの
 (小さじ1杯) ・寒天 2g ・食品着色料 (昆布粉が好む) に達するまで温め、指定の
 温度に達するのを止めて冷まし出す。→ アルミホイルを敷き、平らな表面
 に出す。→ 硬くなるまでそのまゝ自然乾燥させる。
 C: 互れに酢を加え、加熱する。でも固まりをガーゼでこし取る。→
 アルミホイルを敷き、平らな表面に固まりを置き、薄く伸ばす。→ 硬くなるまでそのまゝ自然乾燥さ
 せる。(約1週間)

② 各地の森林した地を熟殺前した土を入れて、(干草・黄捨場・土・緑川・ガム湖・清水・明厚)の土・小麦苗・エゴ田・海水・海産物・オウゴン菜・消化酢・水蜜・力加豆・和菓子・赤餅豆)→豆乳・アラスチック・セニール・片・オウゴン・コシブラスチック・黒アラスチックとこの四方を均等にミキサーに入れ、消化を促す。 (図20-44)

(2) 使說 2 是除証する実験

[illegible][illegible][illegible][illegible]

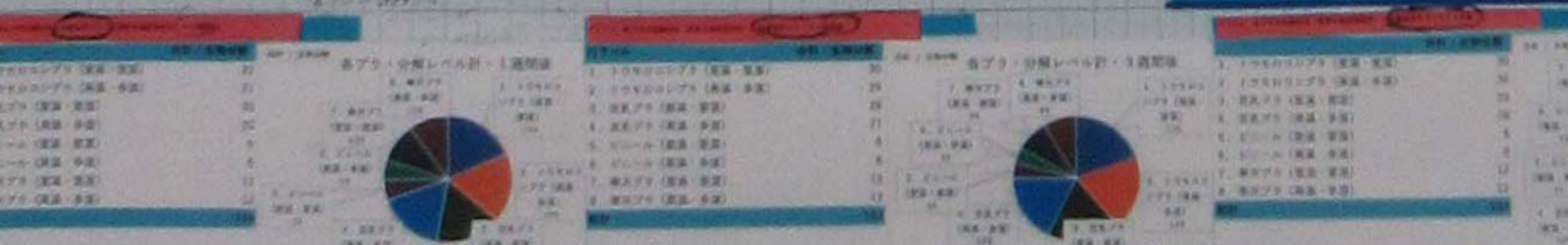
(表1②)1ヶ月後

7/10	元乳	65-11	変化	重量728.5g	54%	(高塩721.1g、91%)	・表場地のガラス槽の様子②	
5.5	5.5	1	4	塩水	1ヶ月後と変化はなにかが変な感じがした。			
5.5	5.5	1	3	3	塩水	1ヶ月後と変化なし。		
5.5	5.5	1	2	2	塩水	1ヶ月後と変化はなにかが変な感じがした。		
5.5	5.5	1	3	3	3	塩水	1ヶ月後と変化なし。	
5.5	5.5	1	2	2	2	2	塩水	1ヶ月後と変化なし。
5.5	5.5	1	2	2	2	2	塩水	1ヶ月後と変化なし。

台脚本読んでる様子はない
 少し素直な感じがしている
 素直になんて分難している
 久々の近世な感じと素直な口ホロホロになっている
 ドロドロとしくは分難さ九月祝を思っけられない



1950年 豆乳 調査		(昭和三十一年 2 回調査報告)	
調査年度	土	一	トウモロコシは現在以上は分譲された豆乳を分けて作分譲された。
4	3	1	調査年度
水	1	1	調査年度
水	2	1	調査年度
4	2	1	調査年度
4	3	1	調査年度
4	3	1	調査年度

[illegible][illegible][illegible]